



6月末には雨が沢山降りましたね
九州の方は大変な事になっています
また暑くなるのでしょうか…
東京都ではここ数日感染者が50人を超える状態が続き
収まるのか第2波といえるのか…心配ですね
皆さん気を抜かないでくださいね!!

7月7日は七夕
年に一度織姫と彦星が天の川で逢引する日です
この日に願い事を書いた短冊を笹の葉に吊るし
織姫星に上達をお願いする日です
食べ物は土用の丑
土用は立夏・立秋・立冬・立春直前の約18日間の期間に
訪れる丑の日だそうです
また季節の変わり目でもあります
今年の丑の日は1月23日、4月16日、4月28日
7月21日、8月2日、10月25日、11月6日です
夏の土用の時期は暑さが激しく体力が失われるので
栄養のある鰻を食べる事で精を付けて下さい♪
今年の鰻は稚魚(シラス鰻)が沢山取れ安く手に入るですよ!!

マスクを着用して脱水症状に気が付きにくいので
こまめに水分補給をして下さいね!!

～7月掲載内容～

- *外国人実習生情報
- *日本～また下がったGDP
- *米国の命令
- *ニッポンよ! 自信を取り戻そう!!

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

外国人実習生情報

組合で知り得た情報の一部です。下記の他の国の状況など何でもお問合せ下さい。

◆渡航制限状況

①中国／危険レベル3(渡航中止勧告)

国際線は各社、中国との航空路線を1路線/週1往復までに限定しています。関空から上海吉祥航空の週1便です。

来日の人は翌日から14日間は自宅や宿泊施設等で不要不急の外出を避け要待機となっています。

②ベトナム／危険レベル2～3(不要不急の渡航禁止～渡航中止勧告)

感染状況が落ち着いている為、ビジネス上必要な出入国についての例外的措置を実施、水際措置を維持した上で6月25日に日本のビジネス関係者らを乗せた臨時便がベトナムへ出発しましたが、未だベトナム航空等からは一般往來の運航計画は出されていません。

ベトナム入国の際での防疫措置として入国前PCR検査証明、入国後14日間の活動計画書(滞在場所・移動先・接触予定者)の提出書や位置情報の保存が義務付けられます。

③タイ／危険レベル2～3(不要不急の渡航禁止～渡航中止勧告)

タイ国際航空については日本発及びバンコク発についても10月24日まで運休とされており他の飛行機の計画については未定です。

タイ国内では感染状況が落ち着いているため経済や生活上の活動がほとんど緩和され、6月15日には教育機関使用や夜間外出禁止令解除等の緩和措置、県境の移動などが認められています。一方ではパブやバー、カラオケについての活動禁止など、現在も政府から予防措置の呼びかけと部分的な非常事態宣言は続いています。

④ミャンマー／危険レベル2～3(不要不急の渡航禁止～渡航中止勧告)

6月29日現在、ミャンマー国内の感染者数は299名、うち回復者218名、死者6名

ミャンマー政府は6月30日までの期限で発表していた各種制限措置(通達・声明・国民へのお願い・指示)について、7月15日まで延長する旨を発表、6月29日には国際旅客便の制限についても7月31日まで延長する旨の発表がありました。

◆当組合のWEBを使った取り組みについて

(1)WEB面談

来日予定の技能実習生を対象にWEBでの面談と教育を実施しています。

まず、WEB面談についてはコロナ渦で予定通りの来日が叶わず心配されている企業様と実習生に対し、ZOOM(WEB会議ツール)を利用した3者面談を計画しています。日本へ行くことを楽しみに日々勉強をしている実習生たちを組合へ来て応援してあげてください。

(2)WEB選考

コロナ渦で予定通り現地での選考会に行けない企業様を対象に、ZOOMを利用したWEB選考会を計画しています。詳しくは組合スタッフよりご案内させていただきます。

(3)WEB教育

6月29日より開始、来日予定の実習生を対象に弊社の日本人講師が日本語を教えています。平時よりも教育期間が伸びているため、実習生にも良い刺激になることを目的に取り組んでいます。



日本～また下がったGDP

2019年12月に内閣が発表した数値によると、世界の中で日本経済が占めるGDP(国民総生産)のシェアは1995年に18%あったものが、直近の2019年では5.7%まで下がりました。前年に比べて0.3ポイント下がり過去最低となりました。日本のドル換算の名目GDPは長く米国の次いで世界2位でしたが、2010年に中国に逆転されました。

IMF(国際通貨基金)の2018年のデータによると1名当たりのGDPは世界の中で26位、39,304ドルと毎年下がりっぱなしです。1位は115,536ドルのルクセンブルクですが、マカオ、ノルウェー、米国、オランダ、オーストラリア、香港、イスラエル、ニュージーランド、アラブ首長国連邦などの後ろです。もっと衝撃的なのがOECD(経済協力開発機構)のデータによると、1名当たりのGDPは日本が41,501ドル、米国は62,852ドルで米国の約66%です。韓国は42,135ドルなので韓国よりも下なのです。嘘でしょう!? 本当です!!

いったい日本は何故こんなに下がっているのでしょうか!?

少し歴史を遡りましょう…

1985年、ニューヨークのプラザホテルに先進国の大蔵大臣、現在の財務大臣と中央銀行総裁が集まって「プラザ合意」がありました。このプラザ合意を決める前のレートは1ドル240円、それが2年後には120円まで円高となり日本だけが倍になったのです。

為替レートというものは国の競争力の90%以上を為替が占めていると言っても過言ではありません。為替が2倍になってしまうと日本が輸出する自動車や家電製品の値段が外国では2倍になってしまうからです。そうすると商品が売れなくなり、売れなくなると日本政府では円高不況が始まります…それで日本政府はどうした!?

政府は財政出動し日銀は金融緩和し思い切った景気対策をしたのです。政府の役人は窓口規制といって銀行に貸出枠を決めていたので貸付を消化しないと次年度は減らされますが、銀行は貸出先ありません。仕方ないので不動産融資を行ったのです。これがどんどん進み不動産投資ではなく投機へと進みました、皆さんもご存知の「バブル」です。普通土地が下がらないけれどもバブルを起こし普通の値段に戻れば奈落の底です。東京、大阪の土地はバブルの頃の値段に比べ20分の1～10分の1に下がりました…さあどうする!? この不良債権処理をしたのが小泉内閣です。

米国の命令

米国はブッシュ大統領就任時は同時多発テロ事件で経済的に苦しい時代でしたが、米国は小泉首相に不良債権処理を早く進めて日本企業を二束三文で全て引き渡せと命令したのです。この命を受け早手を付けましたが中々進みません。銀行へ乗り込み「これもあれも不良債権だ」としてレツテルを張ったのです…さあ大変だ!!

阪和銀行などを血祭りに挙げ倒産させました。三菱UFJ銀行は不良債権だと言われていたものが実は回収出来ており6,000億円もの戻り益が出たのです。UFJ銀行を追い詰めて融資先を二束三文で叩き売らせる為にやったことです。

よく分かる例ですが、当時100億円位かけて造られたゴルフ場が1億円で売り飛ばされていますね…同じように企業が沢山売られましたが、これは竹中大臣のやった事なのです。

カジノは外国企業が候補だ、日本企業はない…なぜ外国企業だけなのだ!

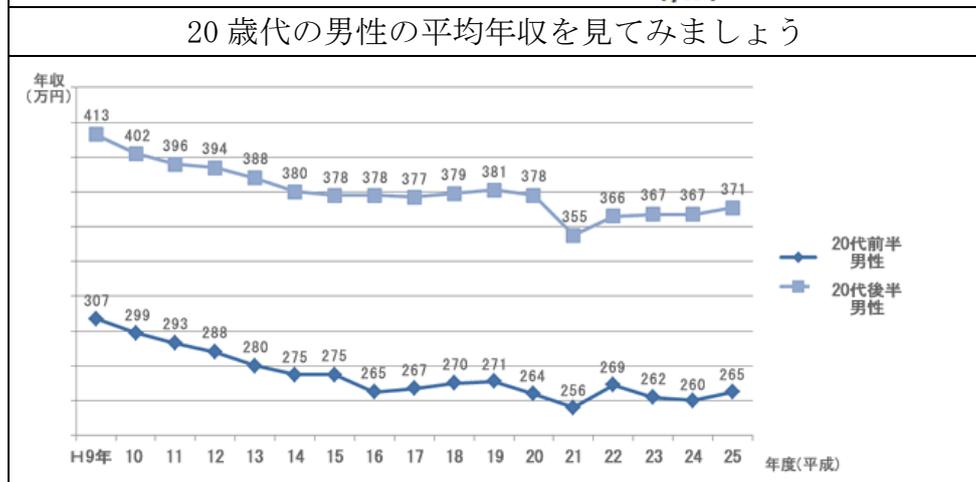
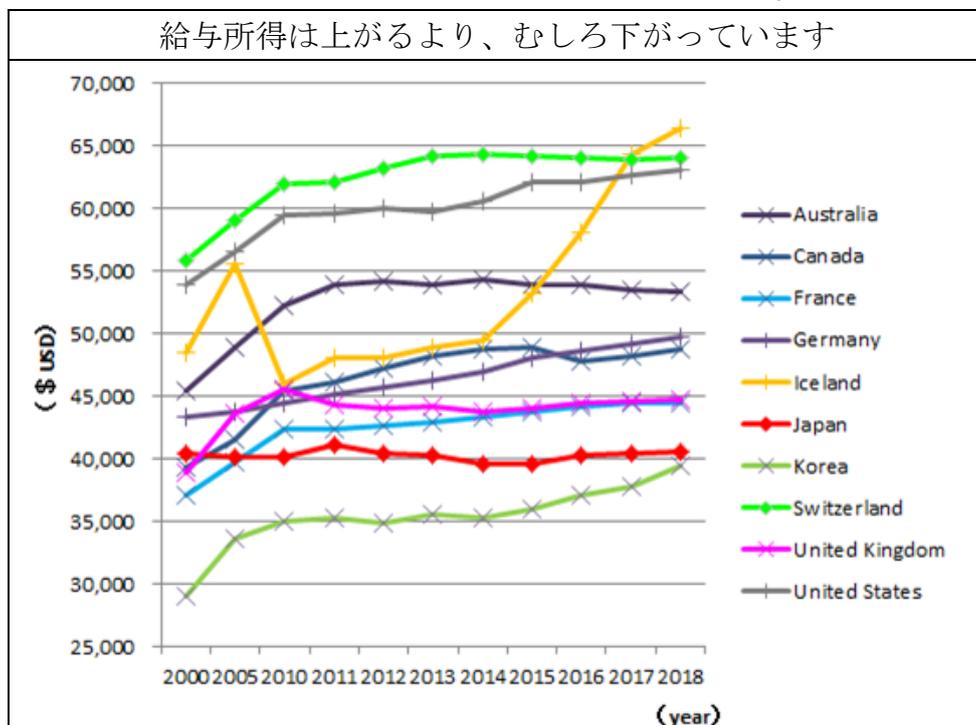
水道法改正をするという…なぜ世界で一番の水道が外国企業に委ねられるのか…これはいったいどういう事だ!!

その原因は「日本の防衛を米国に依存」していることか、はたまた日本はまだ米国の植民地なのか、日本人が有色人種であるからか…などなど疑問が沸いてきます。いずれにせよ米国は毎年年次改革要望書なる対日要求をしている事は事実。

日米地位協定なるものが不平等そのもので、これらは過去の歴史を紐解かないと分かりません。

①給料(賃金)

筆者は1986年(昭和61年)に事業を始めました。当時としては少し高かったのですが募集した社員の初任給は20万円でした。この時から既に34年が過ぎましたが初任給は今も変わっていません。では、世界の平均年収や日本の年収は!? グラフを見てみましょう。



また、OECD(経済協力開発機構)のデータを基に全労連が作成したものは1997年を100とした場合、2016年はどんな数値か…各国の実質賃金で表しています。

スウェーデン…138.4	オーストラリア…131.8	フランス…126.4
ドイツ…116.3	米国…115.3	日本…89.7

この理由は直接的に非正規雇用者の増加など色々な理由があろうと考えられますが、戦後の日本を「所得が上がらない国」「将来に自信を持ってない国」にしてしまった影響が非常に大きいのではないのでしょうか!?

そこで、一体何か日本をこんな国にしてしまったのか、これからどうすれば日本に未来があるのかを一つの考え方として書いてみます。

ニッポンよ！ 自信を取り戻そう！！

日本は世界に何をもたらしてきたのか、根底にあるものは「自虐観念」と「自信喪失」です。これを払拭し自信を取り戻すことが絶対要件です。その為には日本が歩んできた歴史を知る必要があります。

【戦争は何をもたらしたか】

明治時代以後、欧米諸国は植民地獲得とその為の戦争に明け暮れました。日本は日露戦争や大東亜戦争(第二次世界大戦、太平洋戦争)を経験し、日本はこれにより教訓を得られました。

東南アジア各国は黄色人種である日本人が白人に勝って独立の気概が得られ、これにより各国が奮起してフィリピン、インドネシア、インド、ベトナム、ミャンマー(旧ビルマ)など、東南アジアは日本に感謝しています。

中国には満州鉄道などインフラが整備され、近代化を進める基礎を造りました。嘘八百の南京大虐殺などに惑わされる必要はありません。

韓国においては日韓基本条約で既に解決済みであるにも拘わらず、従軍慰安婦問題や徴用工問題など無理難題を日本に吹っ掛け植民地支配し搾取したと言いたいようですが、日本は当時の韓国から搾取するものがありましたか？ 当時の韓国はトイレもなければ女性に名前もない、まして識字率は5%にも満たなかったのです。韓国は日本と併合し日本国の予算以上の資金を使い学校を造り、ハングル文字を普及させ発電所を建設し、インフラを整え近代の基礎を創ってきたのです。今の暮らしがあるのは日本のお陰で日本に感謝することはあっても韓国に謝罪することは全くありません。



日韓併合前の糞尿で塗れたソウル、○が糞尿です

【有色人種と白人】

欧米の植民地政策は有色人種の東南アジアでの搾取しかなく、教育させるなんてとんでもない、愚民政策を執り更には永久に搾取しようと考え、生真面目な日本とは全く違う政策を執ったのです。

日本はハルピンの孫呉に火力発電所を造りましたが、攻め入ってきたロシアは発電所をぶっ壊し、発電機などありとあらゆるものを盗んでいきました。ロシアは略奪しか知らない国なのです。中国人は後に残ったものはないかと家のドアから蛇口まで、ありとあらゆるものを盗んでいきました。最終残ったものは何一つなく、日本人だったらきっと発電所を生かすことを考えたでしょう。

欧米は搾取、ロシアと中国は略奪しか知らない国なのです。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

【騙され続けてきた日本】

日露戦争は米・英・仏などにけしかけられて起こった面もあります。

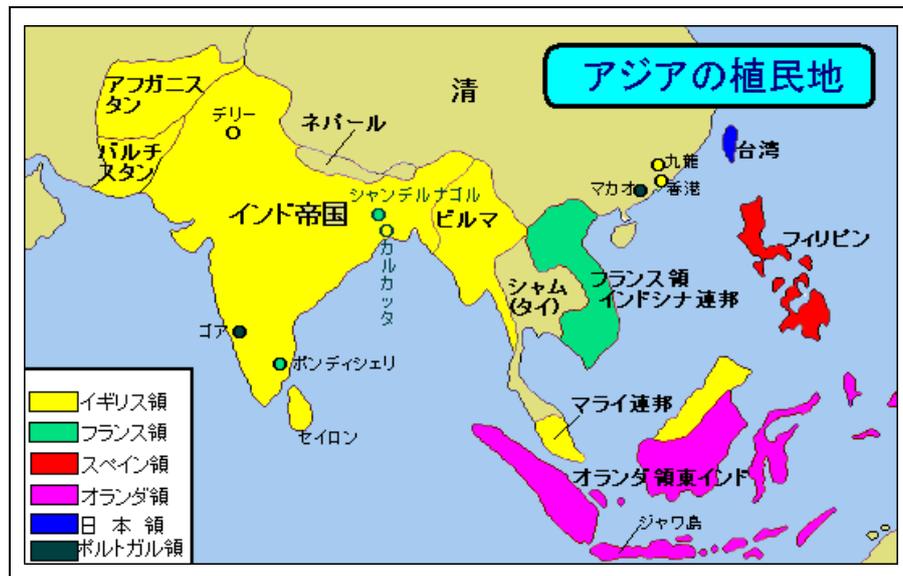
大東亜戦争(第二次世界大戦)が勃発する前、日本が韓国・中国・東南アジアをよくしようと日本国民に多大な重税をかけ、教育、インフラなどの投資に回し、欧米の搾取型とは異なり奉天(瀋陽)では集中暖房がされていたぐらい発展していたのです。欧米は日本の政策を見て驚きこれでは日本に中国の権益を取られてしまう…やられてしまうと…。欧米は元々中国に対し搾取型の権益を持つために日本に対し戦争に持ち込むように挑発して大東亜戦争が勃発したのです。これはアヘン戦争を見ても分かります。

米国は中国での権益を得る為に日露戦争前から対日戦争に対する計画を予め作っていたのです。オレンジ計画(オレンジは黄色人種を表します)…さすが白人社会は搾取国家ですね、以下その経緯を書いてみます。

【白人国家の搾取】

16世紀の大航海時代(日本では戦国時代、安土桃山時代)を迎えたヨーロッパでは、ポルトガル・スペイン・オランダが、18世紀(江戸時代)にはイギリス・フランス・アメリカが相次ぎ植民地支配に乗り出しました。アジアではインド・ビルマ・インドシナ・マライ・フィリピンなどを次々に植民地化し支配してきたのです。現地人を「愚かな民族」「奴隷民族」と見なし軍事能力を与えない、これに加え中国人やインド人を移民させ民族間の対立を煽りました。この時代に日本が植民地にならなかった理由には諸説ありますが幸いでしたね。

以下、欧米各国の植民地支配を簡単に書いてみます。



■オランダ

オランダは1596年からインドネシアを支配し350年間もの間植民地として利用しました。この間に香辛料などを独占的に収奪し19世紀に入ると強制的栽培制度を導入し、耕地の5分の1(実際は半分)に渡ってコーヒー、砂糖、藍などのヨーロッパ市場向け作物を強制的栽培させたのです。これによる巨額の収益は国家予算の3分の1を占めました。

■フランス

仏の植民地政策は16世紀初めからです。フランスはインドシナ半島東部を支配し無主の土地に没収令を出し、申告のない土地を収奪しフランス人らに無償で与えました。農地を奪われた農民は小作人から更に債務奴隷へと没落したのです。

■イギリス

イギリスはインドの綿織物輸入で利益を上げていましたが、産業革命で自国の綿製品が盛んになるとインドの綿製品には課税し英国の綿製品には免税して逆輸入させ、インドの紡績業は大打撃を受けました。

また、イギリスで大流行していた紅茶の茶葉は独占状態であった中国から銀と引き換えに輸入していましたが、銀ではなくアヘンを輸出して茶葉を手に入れ流出した銀を取り戻す為にインドにケシ栽培を強制、大量のアヘンを中国に密輸して暴利を得ました。財政悪化を招いた清はアヘンの密輸を取り締まった為、これを口実にアヘン戦争を吹っ掛けて香港を租借したのです。

■スペイン

スペインは1521年、スペイン王の配下をマゼランに送ったのが始まりで、フィリピンを植民地として支配しました。

香辛料を求めて行ったのですが発見されず、交易の中心地として利用されました。この頃からイスラム教からキリスト教への改宗が進み、バリ島を除き現在では殆どがキリスト教徒となっています。現在もスペインとの混血児が多く存在しています。

■アメリカ

アメリカはというと、1898年の米西戦争(アメリカ対スペイン)が勃発、その後スペインはフィリピンの領有権を米国に2,000万ドルで譲渡し、1902年までアメリカの植民地となりました。同年にアメリカに協力してスペインと戦ったアギナルドはフィリピン共和国の独立を宣言するもアメリカに承認されず、米国とフィリピンの戦争が勃発。ルソン島民の6分の1が殺されたのは61万6千人にのぼります。

■アジア各国

こうして見ると有色人種のアジアは白人社会に奴隷化され、略奪と搾取に明け暮れ大東亜戦争が終わるまで続いた歴史があります。この植民地化で注目すべき事は殺戮があったことは言うまでもありませんが、徹底した愚民政策を取り教育はおろか武器を一切所有させなかった事です。

【時代背景】

日本は明治時代、世界は帝国主義の真只中でした。日本国は江戸時代から明治時代へ移り世界は「植民地になるか」「侵略者になるか」の二つに一つ、二者択一を迫られた時代で、欧米に追い付こうと必死に近代化を推し進め植民地にならないように富国強兵に力を注ぎました。

その上、資源がなく金属や燃料など戦略物資は殆ど米国からの輸入に頼らざるを得ませんでした。この時代は背景を理解して歴史を見ないと理解できません。理解出来ない結果は真面目な日本人が敗者をただの悪者扱いをしたり、自虐観念に取り付かれたり、あるいは良いものを悪いものと見誤る恐れが大なのです。

また、偉そうな学者やメディア、学校での勉強が偏り強い者の味方をしていないかなど、判断出来る知識を持たねばなりません。

参考)

帝国主義とは

「一つの国家または民族が自国の利益・領土・勢力の拡大を目指して、政治的・経済的・軍事的に他国や多民族を侵略・支配・抑圧し、強大な国家をつくろうとする運動・思想・政策である」

【日露戦争】

日本国にとってこの戦争は1895年に締結された日清戦争で、日本が勝利したことにより山口県で講和条約「下関条約」が結ばれていました。この内容は「清国は朝鮮国の独立を保証する、遼東半島、台湾、澎湖群島を永遠に日本に割与する。清国は沙市、重慶、蘇州、杭州を日本に開放する」などとしたものでした。

ところがロシアは「日本が遼東半島を支配していると朝鮮半島進出に邪魔だ」また、日本をこれ以上調子づかせないためにロシアはフランスやドイツを誘って同半島の返還を日本に要求してきます。この三国干渉に対し国力に劣る日本政府は仕方なく返還に応じるほかありませんでした。

ロシアは中国(清国)で発生した義和団事件(主にキリスト教宣教師など外国人を襲撃する事件)を口実に軍隊を派遣し、そのまま中国東北部の満州を占領しました。日本は清国との戦争で日本軍が示した戦争遂行能力が高かったにも関わらず、戦後処理の過程で生じた遼東半島の返還要求(三国干渉)を日本政府が為す術もなく受入れさせられ外交面では無力でした。戦場での連戦連勝にも拘わらず戦後処理では部分的に敗北させられたことに大きな屈辱感を味わった日本国民は「臥薪嘗胆(がしんしょうたん)」という言葉が合言葉になりました。意味は「復讐のために耐え忍ぶこと」「この恨みは忘れない、いつかロシアをやっつけてやる」と心が燃えていたのです。

ロシアは日清戦争で日本・朝鮮・清国の勢力バランスが大きく揺らいだのを見て「わが国が南方に進出するチャンスが到来した」と考えていましたが、日本にとってはこのままでは朝鮮半島における権益を脅かされます。日本と同じく自国のアジア政権に不利となるイギリスと同盟を締結し開戦準備を進め、1904年2月8日(明治37年)～1905年9月5日(明治38年)にかけて大日本帝国とロシア帝国との間で日露戦争へと突入していったのです。

ここで質問です。何故日露戦争で米国が日本の応援をしたのでしょうか!?

不思議ですね…米国が日本の応援をするとは…。

ロシアは中国東北部、いわゆる満州を侵略し南に出ようと虎視眈々と機会を狙っていたのには理由があり、それは凍らない海が欲しかったのです。ロシアは清国の主権を明らかに侵害していました。これは米国だけではなく英国にとっても頭痛の種でした。ロシアに中国を独占されたくなかったのです。米英が中心となって唱えていたのがいわゆる「清国主権」と「門戸解放」です。大義名分は「清国は独立国なのだから主権を尊重して、外国に対してどんな事も平等にビジネスできるようにしよう」というものですが、本音は違います。「抜け駆けは辞めて列強諸国で平等に中国の権益を分かち合おう」でした。しかし米英は強大な力を持つロシアと直接対決するには危険が多すぎると考えていたのです。米国にしても英国にしてもちょうど日本は新興国、ロシアと対決させよう!! 日本にロシアと戦ってもらって中国での権益を守りたい!! と考えました。

日本は日本で、米英に協力してもらってロシアから日本の権益を守りたいと考え、利害や思惑が一致したのです。欧米のやり方は汚いですね…自分がヤバいからと他人に行かせるとは…。

日本が日露戦争に勝利し開戦の時に宣言した通り、ロシアの横暴な中国支配は退けられ米英はじめ世界各国の思惑が見事に達成された訳です。しかも黄色人種である有色人種の日本人が人類史上で初めて白人に勝利した瞬間です。

この事を聞き有色人種のアジア各国に独立の機運が高まりました。世界は日本に拍手喝采でしたが、実際は薄氷上の勝利でした。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp



【ポーツマス条約】

この結果、ロシアは中国の利権の一部を日本に譲渡せざるを得ませんでした。即ち旅順-長春間の南満州支線、附属地の炭鉱の租借権を旅順・大連を含む遼東半島南端部の租借権を日本へ譲渡する、日本の韓国での保護権を承認するというものでした。



日本はこの戦争の結果、欧米各国から韓国支配のお墨付き、しかし米国の植民地フィリピンには野心を持たないで欲しい、英国はインド、フランスはベトナムが支配するのを容認するとしたのです。韓国を放置するとまた東アジアが混乱する、韓国は日本が保護すべきだという意見は当時の国際社会では常識でしたので、欧米各国は軒並み賛成しました。

この戦争により南満州鉄道の利権も得ましたが、日本は国家財政が逼迫してお金がありません。その時に米国の鉄道王エドワード・ヘンリー・ハリマンが1億円出しますから共同経営しませんか？という話がありました。満鉄の共同経営の提案を桂太郎首相は快諾します。(桂・ハリマン協定)

しかし、ポーツマス条約の締結を終えて帰国した小村寿太郎外務大臣がこの話を聞いて猛反対、満州は日本だけが支配すべきだと…結局ドタキャンです。

何か…少し変だなと考えた読者はいませんか!?

清国の「清国主権」と「門戸解放」が大義名分だったのでは!?

しかし結果はロシアから日本に権益が移っただけでした。米英の得る物は何もありません。日本側から言えば期限付きで時が来れば中国に返す、鉄道は最小限の軍事力を残し徹底する約束をしていたのです。この戦争で日本国は「二十億の資材と二十万の生霊」という言葉が合言葉のようになりました。これは年間の収入の5倍の20億円と20万の命が失われたという意味です。

日本では日露戦争の大勝利(本当は薄氷の勝利)の報が届き、これで生活も楽になると沸き立ちました。しかし日本はポーツマス条約でロシアから賠償金を1円も取れませんでした。

日本国民が増税は一時的と考え協力しましたが、増税が続くことになりガッカリし納得できません。

大勢の日本人の血と汗を流して獲得した中国大陸の利権、これは正当な権利であり絶対に死守するのだという国民的合意が出来上がってしまったのです。

【辛亥革命】

1911年には辛亥革命が起こって清朝が倒れ袁世凱の中華民国ができ、中国は「日本に対して満州から出ていけ」と抗議します。その時日本は「ポーツマス条約で得た正統な権利だ」と主張。

1914年(大正3年)には第一次世界大戦が欧州で勃発、欧州各国はアジアにかまっていられなくなります。日本はこれがチャンスとばかりに中国での権益を拡大しようと「対華21カ条要求」を中国に提出したのです。

第一次世界大戦では日英同盟に則り陸軍の依頼をしたのを日本は断ってきました。英国は日英同盟をやめよう、同じ白人同志の国である米国と同盟を組んだ方が良いのでは!? と考えるようになり、それは日英同盟解消へと繋がります。

【世界大恐慌】

1929年(昭和4年)には世界大恐慌が発生。

世界は日本に対して持っていた疑念、即ち「中国を我が物にする」という恐れから国際社会からの批判が本格化しました。

【国権回復運動】

中国国内では「清時代」に日本と結んだ不平等な条約などの破棄を一方的に宣言する国権回復運動が盛んになっていました。この運動は強制的に日本人を住居から立ち退かせる、日本人に土地を貸さない、売らない、日本企業の締め出しといった排日運動に繋がり、日本政府は外務省を通じて中国政府との事態の解決に向けて交渉しようとしたのですが、一向に進展しませんでした。

また、日本は手中に収めていた南満州鉄道に対し、中国は新たに鉄道路線を作り経営競争を仕掛けてきました。安価な中国側の路線に客を奪われ満鉄は社員3,000人を解雇するなど経営的に打撃を受けました。

【関東軍】

業を煮やした日本の関東軍は、1931年に日本の関東軍が独断で自分達が守っていた鉄道を爆破し、それを中国人の仕業だとして一気に満州地域を制圧し、その後国家として独立させてしまいました。これが満州事変です。

日本国の指示ではなく独断でこれをやってしまったのです。驚いたのは世界にのみならず日本国政府でした。中国は「満鉄爆破は日本の自作自演だ」と国際連盟に訴え、派遣されたリットン調査団が真実を暴き出します。





リットン調査団

1933年2月、国際連盟総会(国際連合の前身)の審議の結果、満州国は日本以外の全ての国によって否認されました。

【国際連盟脱退】

その結果、日本は国際連盟を脱退します。当時の日本国民はこれを受け大絶賛しました。

1939年(昭和14年)にはヨーロッパで第二次世界大戦が勃発、当初独は連戦連勝し海を隔てた英国にも攻撃を仕掛けます。英国のチャーチル首相は米国に助けを求めます。米国の当時の大統領ルーズベルトは国民を戦場に送らないと選挙公約を掲げて当選したのです。国民の90%が戦争に反対していました。ルーズベルトは何か良い手はないかと考え、日本を挑発して先制攻撃させ同盟国の独を参戦させようとしたのです。この時既に「オレンジ計画」対日本戦争のシナリオが出来上がっていたのです。

1940年(昭和15年)、日本が仏領インドシナへ進駐、米国の植民地が危ない、米国が激高して日本への石油輸出をストップし米国にある日本の資産を凍結したのです…挑発!! 日本はさあ大変だ!! 米国に頼っていた石油の備蓄は1~2年で枯渇…米国は最後通告を日本に突き付けたのです。これが国務長官コーデル・ハルによって作成された「ハルノート」即ち満州を含む中国、仏印から日本軍及び警察の全面撤去の対日要求です。戦争を回避する為1941年に日米交渉が始まり、日本政府の受入れ可能条件を提示してきましたが、当時の松岡洋右外相が完全否決し米国は態度を硬化します。

【御前会議】

1941年9月6日、御前会議(大日本帝国憲法下、天皇臨席の下で重要な国策を決めた会議)が開催され、10月下旬を目処に米国と英国に対して戦争をすることが決定されました。それでも天皇の命を受けた東条英機は懸命に戦争の回避に動きますが、日本国民、日本国には受け入れられるものではありませんでした。

米国ではルーズベルト大統領が国民を戦争に駆り立てないと公約して当選をしていますから、戦争する為に何か良い方法はないかと考えています。これをひっくり返すのは相手(日本)に先制攻撃させるしかないと考えるのです。いつもの手段で国民の怒りを高揚させ、その後に攻撃をするのが米国の常套手段で、米国の歴史や過去を見ればよく分かります。

リメンバー・アラモ(メキシコ戦争)、リメンバー・サムター砦(南北戦争)、リメンバー・メイン号(スペイン戦争)、リメンバー・ルキタニア号(第一次世界大戦)、リメンバー・パールハーバー(第二次世界大戦)、リメンバー・トンキン湾(ベトナム戦争)、リメンバー・311(対テロ・アフガン・イラク戦争)などなど、驚くほどアメリカ政府にとって都合よく、米国の国民を戦争支持へと駆り立てる事件が勃発しています。勃発しているのではなく、勃発させるように仕向けたのです。

【大東亜戦争】

この世界大戦もまんまと日本が乗せられました。その証左としてルーズベルトの長女の夫であるカーチス・B・ドールが告発した書「操られたルーズベルト」があります。それによるとルーズベルト大統領は真珠湾攻撃の前日に家族との朝食の席で「私は決して宣戦はしない、私は戦争を造るのだ、明日戦争が起こる」と話していたという…このことを知っていたのは大統領とハル国務長官とスティムソン、ノックス海軍長官の4名だけでした。その半年前にスティムソン陸軍長官は「私たちの戦争準備は全て終わった、あとはハル国務長官、あなたの出番ですね」と洩らしました。それは戦争に持ち込めるか否かは日米交渉でハルが如何に日本を虐めて、日本に開戦の決断をさせるかに掛かっているという事を示唆した発言と受け取れます。

【馬鹿な日本大使館】

この米国ルーズベルト大統領の計画を助けたのが万死に値する駐日本大使館、日本外務省は宣戦布告にあたる交渉打ち切り通告「対米覚書」を攻撃開始のハワイ時間7日午前8時、ワシントン時間午後1時半の30分前にハル国務長官に手渡すようワシントンの大使館に指示しました。

ところが、前夜から送られてきた覚書は分割されたうえ長文に渡り、最後の一節にあたる第14部と国務長官への手交時刻を伝える指示電報が到着したのは7日午前と既に時が迫っていました。解説、清書に手間取り(言い訳!?) 結局野村吉三郎、応援派遣の来栖三郎の両大使がハル国務長官に面会したのは午後2時20分です。その時は既に真珠湾は攻撃され火の海と化していました。ハル国務長官は「日本は野村、来栖が私に通告を渡すよりも1時間以上も前に無警告で真珠湾を攻撃した」と非難され「無警告攻撃」はその以後、事あるごとに米側の宣伝材料として利用されたのです。

【日本の植民地政策】

現地女性を犯さなかった日本軍と米軍の違い…

米国のサキ報道官(バラク・オバマ大統領時代)は当時大阪の橋下市長が「戦時慰安婦が必要であった」「各国軍隊が同じなのに米国が日本だけあげつらうのはフェアではない」と発言、この米国への批判に対し「そんな話は不快だ」と答えました。

米国は米国が行った過去を知らないのだろうか!?

米軍は19世紀末に独立させてやると嘘を言ってフィリピンに乗り込んだ米軍が何をしたか…殺戮と強姦の限りを尽くし植民地化しました。殺されたフィリピン人は40万人を超え混血児は25万人、この他ベトナム、タイ、カンボジア、韓国、日本に数え切れない混血児がいます。

一方日本軍は、900万もの将兵が戦地に行きましたが規律は厳しく、現地での強姦など民間人に危害を加えないよう所謂従軍慰安婦を伴いました。その結果が日系の混血児を残さなかったのです。日本人が現地女性を犯さなかった軍隊であった事の証左です。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

【戦争の遺産】

■東南アジア

大東亜戦争(第二次世界大戦)が終結し日本の欧米に立ち向かう姿に勇気づけられたインド、インドネシア、シンガポール、マレーシア、ベトナム、ミャンマー(旧ビルマ)など次々と独立を勝ち取っていきました。有色人種が白人に勝っていった機会を作ったのが日本です。

インドネシアのモハメッド・ナチール元首相は「アジアの希望は植民地体制の粉碎でした。大東亜戦争は私たちアジア人の戦争を日本が代表して敢行したものです」と称賛しています。

インドのラグ・クリシュナン大統領は「インドでは当時イギリスの不沈戦艦を沈めるなどということは想像も出来なかった、それを我々と同じ東洋人である日本が見事に撃沈した。驚きもしたがこの快挙によって東洋人でもやれるという気持ちが高まった」と東南アジア各国は喜びの声を上げています。

■米国

「アメラジアン」という言葉を知っていますか？ アメラジアンとは米国人とアジア人の両親を持つ子供のことを指します。第二次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争で数千数十万人のアメリカ系アジア人の子供がアジア諸国や太平洋の島国などの各地で生まれています。その多くは混血児として各国のマイノリティ(社会的少数者)となり、時には差別の対象になりました。日本(特に沖縄)、韓国、タイ、ベトナム、フィリピンなどで特にフィリピンには多数のアメラジアンが暮らしています。

この人達を救済!? 償いするべく出来たのが1982年の「アメラジアン法」即ち「混血児救済法」です。この法律は主に戦時中に出来た混血児に移民や帰化、米国市民権を認めるものです。しかし、よく考えてみると市民権をあげるだけで、「謝り」「謝罪」は一言もありません。

救済とは名前ばかりで誰が見ても馬鹿にしている法律であり、根底にあるのは白人の有色人種に対する意識がこの程度なのです。米国の奴隷制度をみても分かるでしょう。

【奴隷と有色人種】

奴隷制度がなかったのは日本だけです。あの旧約聖書さえ奴隷制度があります。五大預言者の一人のアブラハム(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教を信仰する異教徒の始祖)さえ、女奴隷に沢山の子供を産ませているのです。

【米国】

キリスト教の元祖というべきアブラハムでさえこうですから推して知るべし。米国における奴隷は米国を開拓しようとした白人は当初インディアンを奴隷化しようとしたが、抵抗し奴隷には適していませんでした。英国本国やニューイングランドでは奴隷承認たちが奴隷を購入するよう持ち掛けてきました。英国では既に奴隷を商品として売り買いできる法律を作っていたのです。この時代、彼等白人には黒人が同じ人間という考えはありませんでしたから、奴隷解放は1865年まで続いたのです。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

【初代大統領、ジョージ・ワシントン】

ジョージ・ワシントンと言えばアメリカ合衆国初代大統領で「建国の父」であり「僕が斧で桜の木を伐りました」の正直者エピソードでよく知られていますね。読者は作り話だった事を知っていると思いますが、驚くなかれ…実は奴隷を 400 人所有していたのです。

彼は 22 歳で最初の永久歯を失った後 57 歳までの 25 年間に 27 本もの歯を次々失くし総入れ歯だったのです。その口の中にはカバの骨の土台に動物の歯を入れ、人間の本当の歯まで受け付けたグロテスクな総入れ歯が入っていました。この歯は奴隷の歯を抜いて自分の入れ歯に使っていたそうです。

【トーマス・ジェファーソン】

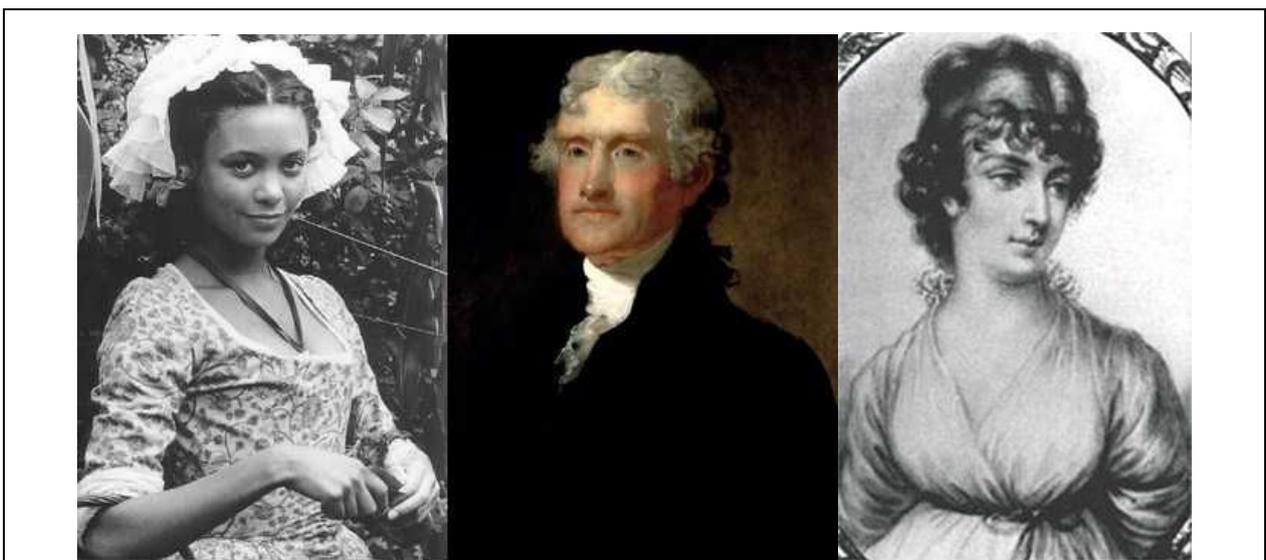
第 3 代米国大統領…2 ドル札を知っていますか？

そうです！ 独立宣言の起草者の一人、トーマス・ジェファーソンです。この人の妻であるマーサ・ジェファーソンは夫が大統領に就任する前に 33 歳で亡くなっており、妻のお付きの奴隷はサミー・ヘミングウェイと言いました。この血筋を見てくると驚かされます。米大陸に運ばれてきた黒人女性 A は白人奴隷王に犯され B を生みました。B は英国人船長ヘミングウェイに買われベティを生み、農場主のジョン・ウェイルズがベティを買って 8 分の 1 の黒人との混血児サリー・ヘミングウェイを生んだのです。このサリーをジェファーソンの妻のお付きの奴隷として買ったのです。



このサリーに手を付けたのが米国の独立宣言の起草者の一人であるトーマス・ジェファーソン、後の第 3 代大統領なのです。

もちろん妻にすることはありませんでした。ファーストレディには長女のマーサ・ワシントン・ジェファーソンが務めました。



奴隷サリー・ヘミングウェイ・ジェファーソン、 トーマス・ジェファーソン、 娘のマーサ・ワシントン・ジェファーソン

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

【米国の奴隷制度】

米国の奴隷制度はメイフラワー号が着く前年 1619 年から奴隷解放宣言が出る 1883 年まで、実に 244 年もの間続けられたのです。

【ジム・クロウ法】

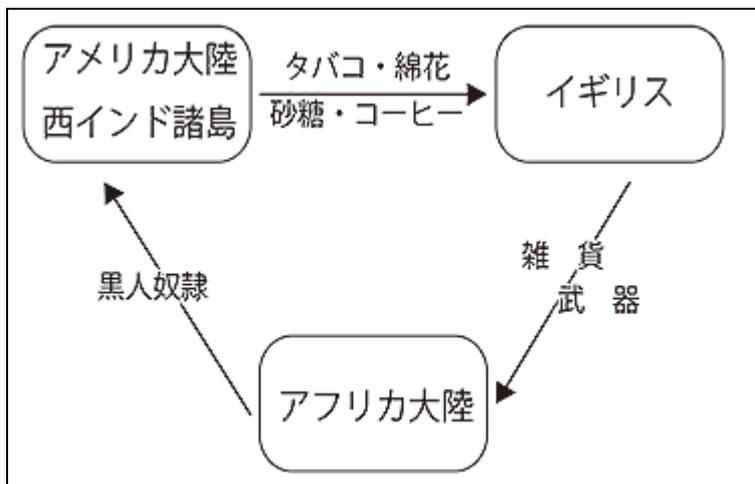
米国において 1867 年から 1964 年までこの法律がありました。公民権が 1964 年にやっと取れたのです。これは一般公共施設の利用を制限したもので、黒人、黄色人種で白人以外の有色人種が対象でした。病院、バス、電車、婚姻、交際、学校など色々な制限がありました。

【余談】

メイフラワーと言えばピューリタン(清教徒)を思い浮かびますが、実は乗船した 102 名の内訳をみると、ピューリタンの家族は 41 名、投資家が募集した人は 40 名、双方の招使と奉公人が 21 名で半数がピューリタンではなかったのです。

【欧州】

三角貿易、教科書で勉強した事を思い出して下さい。



17～18 世紀のヨーロッパ諸国が行っていた欧州本土と米国大陸及び西インド諸島とアフリカ大陸を結ぶ三角形…三角貿易です。

工業製品をアフリカに持っていき、アフリカから奴隷を積み込んで西インド諸島や北アメリカ大陸に運び、そこからタバコや綿花などの産物を積み込んで英国に帰って来るという空荷を無しに貿易船を仕立てて利益を上げました。この三角貿易での利益を蓄積し産業革命を推進したとされています。

【中国】

ついでに中国では殷の時代から奴隷制度はありました。この時代人口の 5% が奴隷でした。

近く清の時代には朝鮮では丙子の役で、清朝軍が李氏朝鮮を制圧した戦いの際に清朝軍は 50 万の朝鮮人を捕虜として強制連行し、当時の盛京(現在の瀋陽)の奴隷市場で売られました。

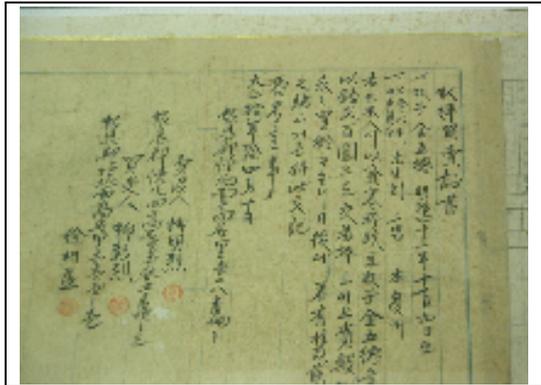
アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

【韓国】

奴婢法律における身分階級の一つであり、良民(自由民)と賤民(非自由民)がある中の後者に相当します。男性は奴(ぬ/やつこ)、女性は婢(ひ/みやつこ)と呼ばれました。

朝鮮においては起源と発展の他国と異なる奴隷制度であり、高麗時代に完成した制度です。一般的に職業の選択、家族を持つ自由、居住の自由などが制限されており、一定の年齢に達した場合などで解放されることもありました。しかし基本的には牛馬家畜と同じ扱いであり、市場などで取引されていました。王族に次ぐ最上位に両班、次に中人、常民(良民・平民)、奴婢という制度が法律化されていました。朝鮮半島では1894年の甲午改革で法的に奴隷制度が撤廃されましたが、実質的に奴隷制度が廃止されたのは日韓併合の時代です。1910年に朝鮮総督府が奴婢の身分を明記していた旧戸籍を廃止し、すべての国民に姓を定めた新戸籍制度を導入したのです。



1921年(大正10年)の奴婢売買文書

併合後も日本が1923年に戸籍制度改革するまで韓国人の両班は奴婢売買を続けていました。そして1801年には公奴婢が解放され、1894年には近代改革により賤民制度の全廃に至りました。

…とは言え、富裕階層の家には聴直(チョンヂギ/主人の下僕)、床奴(サンノ/食膳運び)、上直(サンヂギ/奥方の下女)といった呼称で奴婢の遺制が日韓併合後の1920年代の初期まで残っていたのです。

【日本の自信と勇気】

このように見てくると先進の欧米各国は正しいことをしてきたのです。日本が悪いなどとは努々考える必要がありません。まして自虐観念など全く必要がないのです。

ミャンマーのバー・モウ元首相の言葉を借りれば「歴史的に見るならば、日本ほどアジアを白人支配から離脱させることに貢献した国はない。しかしまたその解放を助けたり、あるいは多くの事柄に対して範を示してやったりした諸国民そのものから、日本ほど誤解を受けている国はない」「もし日本が武断的独断と自惚れを退け開戦当時の初一念を忘れず、大東亜宣言の精神を一貫し商機関や鈴木大佐らの解放の真心が軍人の間にもっと広がっていたら、いかなる軍事的敗北もアジアの半分、否、過半数の人々からの信頼と感謝とを日本から奪い去ることはできなかったであろう。日本のために惜しむのである(ビルマの夜明けから)」

お分かりでしょう…日本は自信を持っていきましょう!!

しかし、歴史を見て分かるように日本は敗戦国であるが故に、現在でも半植民地です。沖縄や日本各地に米軍の基地があり、しかも米軍基地駐留経費の90%近くを日本が負担しています。日本は日米安保に守られていますか!?! 日本が独立国であれば日本自らの手で防衛しなければ本当の独立ではありません。たった2週間で原案が米軍によって作られた憲法、二度と立ち上がれないようにした憲法、憲法前文には「…平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して…」とあります。信頼できる国はあるのか、それは尖閣諸島を狙う中国か、慰安婦の韓国か、はたまた米国でしょうか…。

日本人よ! いい加減目を覚ましましょう!!